

1月 6-12日

詩編 127-134 編

134 番の歌と祈り | 開会の言葉（1分） 浮田 | 田中克彦

神の言葉の宝

1. 親の皆さん、エホバからの財産を大切にしましょう（10分） 水品 安章

エホバに頼って子供を育てる。（詩 127:1, 2）

子供はエホバからの大切な贈り物。（詩 127:3。塔研 21.08 5 ページ 9 節）

子供一人一人に合わせて教える。（詩 127:4。塔研 19.12 26 ページ 20 節）



親がエホバに頼って一生懸命に子供を教えるなら、エホバは喜んでくださる。

2. 宝石を探し出す（10分） 伊藤 勇一

詩 128:3 あなたの妻は家の中で、実ったブドウの木のようになる。あなたの子たちは食卓を囲んで、オリーブの若枝のようになる 子供がオリーブの若枝や挿し木に例えられているのはなぜか。
(洞-1 543) 聖書の詩編作者は、エホバを恐れる人たちに、「あなたの子たちは食卓を囲んで、オリーブの若枝のようになる」と約束したさい、オリーブの木が持つ幾らかの特徴に暗に言及していました。 (詩 128:1-3) 切り枝ないし挿し木は、生長したオリーブの木から取られて、新しい木を植えるのによく用いられます。さらに、オリーブの老樹は根から若枝を伸ばして自らを存続させます。そのような若枝のように、子供たちは父親を囲んで、家族の幸福のために自分たちの分を果たすのです。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

(133:3) ヘブライ語聖書では3箇所しか出てこないが、永遠の命という祝福について述べられた最初の箇所で、(133:1)民の一致によってもたらされるエホバのその祝福の素晴らしさについて良く表現。この聖句からも永遠の命の約束の確かさと爽やかさを宣教で皆さんに伝えていきたい。

3. 聖書朗読 (4分) 詩 132:1-18 (教励 第2課) 向山 公庸

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 大坂 典子 愛込 1-3 小島 奈帆美

(3分) 日常生活で。 ([愛込 レッスン1 ポイント3](#))

5. 会話を始める 田島 智子 愛込 5-4 宮崎 倫子

(4分) 日常生活で。聖書の教えと違う意見を言われる。 ([愛込 レッスン5 ポイント4](#))

6. 教えて育てる 枝並 真菜 愛込 10-4 大谷 恵美子

(5分) [暮 レッスン16 ポイント4-5。](#)自分が不在の時にどうやってレッスンを行うかを説明する。
。 ([愛込 レッスン10 ポイント4](#))

クリスチャンとして生活する

13番の歌

7. 親の皆さん、お子さんに良い手本を示していますか (15分) 討議。 有田 悟

エホバの組織は、親が子供にエホバについて教えるためのたくさんの教材を用意しています。でも、どんな教材よりも効果があるのは親の手本です。 ([申 6:5-9](#) あなたは、心を尽くし、力(*活力/資力)を尽くし、自分の全て(c*へ語ネフェシュ)を尽くして、あなたの神エホバを愛さなければなりません。 6 私が今日命じるこれらの言葉があなたの心に入っていなければなりません。 7 あなたはその言葉を自分の子にしっかり教え(*繰り返し言い/銘記させ)，家で座るときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときもそれについて話さなければなりません。 8 それを思い起こすためにあなたの手に結び、額(d*目の間)にある帶のようにしなければなりません。 9 それをあなたの家の戸口の柱と門に書きなさい。)

イエスも手本によって弟子たちを教えました。

[ヨハネ 13:13-15](#) あなたたちは私を『先生』や『主』と呼びます。それは正しいことです。私はそういう者だからです。 14 それで、主であり先生である私があなたたちの足を洗ったのであれば、あなたたちも足を洗い合うべきです。 15 私はあなたたちのために模範を示しました。あなたたちも同じようにするためです**読む**。次の質問する

0. イエスが手本によって教えたことはなぜ良かったと思いますか。

あなたが良い手本を示すなら、言葉だけで教えるよりも説得力が増します。お子さんはあなたがしていることを見て、自分もやってみようという気持ちになるでしょう。



「子供の良い手本になる」の動画を再生する。次の質問をする。

1. ガルシア兄弟姉妹は娘たちにどんな大切なことを教えましたか。 聖書を熱心に学ぶ姿勢、聖書を皆で小声で読む、パートタイムの仕事をして持っているもので満足していた、父は開拓者で収入も多くなかった、車が動かなくても歩いて集会に出掛けた(いろいろな問題や心配事があつても集会を休んでは行けない)、両親は子どもたちと話す時間を大切にしていた(父はどんな忙しくても手を止めて話を聞いてくれた、ある男の子を好きになった時両親は良く話を聞いて考えてくれた、感情的にならずに聞いてくれた、気持ちを理解しようしてくれた)、特に感謝しているのは聖句について良く考え思いめぐらすよう教えてくれたこと、両親は全時間奉仕をするよう励ましてくれた、パートタイムの仕事をしていたが、親しかった姉妹が親も年を取るのでもっと仕事をして両親に楽をさせてあげたらと提案されても、もし開拓奉仕を止めたら両親が悲しむことは分かつっていた(両親は若い時に一生懸命奉仕して欲しいと願っていたから)

2. この動画から、子供に手本を示すことの大切さについてどんなことを学びましたか。
ギレアデ学校に招待されたり、娘たち皆が両親の模範に感謝し、家族全員が開拓奉仕を楽しんでいる。親の手本が本当に大切で家族を幸福にする。

お子さんに手本を示しましょう

- ・エンターテインメント、お酒、ソーシャルメディアに関して良い判断をする。
- ・エホバの崇拝を生活の中で第一にする。
- ・配偶者に愛と敬意を示す。

8. 会衆の聖書研究 (30分) 徹 20章 13-20節 田中 慶一 朗読: 長谷川 瑛一

閉会の言葉 (3分) | [73番の歌](#)と祈り 竹林 直毅

^(詩 127:0-134:3) 都へ上る時の歌。ソロモンによる。 127 エホバが家を建てるのでなければ、建てる人の労働は無駄である。 エホバが町を守るのでなければ、見張りの番は無駄である。 2 早く起きるものも、遅く寝るものも、食べ物を得る苦労も無駄である。 神は愛する人を世話し、眠りを与える。 3 子供はエホバからの財産、子は神からの贈り物。 4 若かりし時の子供は、強靭な人の手にある矢のようだ。 5 矢筒が満たされた強靭な人は幸せだ。 恥をかくことはない。 子供が町の門で敵と渡り合うから。